

ちくちく
仲間の
手作り



羽根つき
ベスト
作り方
P.121

脇が
ユニーク

七分丈
パンツ
作り方
P.120

実物大型紙つき

山崎恵子さん

幼い頃から手芸が好きで、13歳からミシンで自分の服を作っていました。数か月間ニットソーイング教室に通った経験はあるものの、洋裁は独学。好奇心を頼りに服作りに励み、日々、譲り受けた和布でリメイクを楽しんでいます。頼まれて作る際には、その人の体型に合わせてパターンを起こして仕立てるので、とても好評です。



丸に違い鷹の羽の家紋を生かしたベストは、脇に着物の袖を利用したユニークなアイデアが光る



羽織裏からユーモラスな絵柄を切り取り、前後身頃のセンターに配したブラウスは、脱ぎ着がしやすいブルオーバー

家紋のベストは脇が大きく開いたデザインで、動きやすいうえ窮屈さが無い。男物の縞柄の袴をリメイクしたサブリーナパンツと合わせて

絞りの羽織をチュニック丈のブルオーバーブラウスに。後ろ裾下がりのシルエットが気になる腰回りを美しくカバー



上/有松絞りの浴衣地から後ろファスナー開きのチュニック。細やかな青海波の絞りがさわやか 右/シックな楕柄でコートとポシェット。肩タックとスタンドカラーが首回りですっきりエレガントに見せる

